



riraku-life



アーシング測定キット (プローブ付き)



説明書



袋

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にはこの取り扱い説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
そして常にご覧いただけるように製品と一緒に大切に保管してください。
本書で指定していない方法で使用すると、本製品の保護機能が損なわれることがあります。
下記の記号をよく理解し、記載事項はやけどや感電などの事故防止のため、必ずお守りください。

表示の説明



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



警告

以下の項目は、やけどや感電などの人身事故を防止するためのものです。
本器をご使用する際には必ずお守りください。

1. 強力な電磁波を発生するもの、帯電しているものの近くでは使用しないこと。
2. 本体またはリードコード、テスターコードが傷んでいたり、壊れていたりしている場合は使用しないこと。
3. ケースまたは電池フタを外した状態では使用しないこと。
4. 測定中はダイヤルを回して切り替えないこと。
5. 測定前には、ダイヤルの位置の確認を確実にすること。
6. 本器または手が水などで濡れた状態での使用はしないこと。
7. テスターリードコード、テスターコード、は指定のものを使用すること。

保守管理について

1. この項目は安全上重要です。本説明をよく理解した上で管理してください。
2. 安全と維持のために1年に1回以上は点検を行なってください。

● 保守点検

1. 外観：落下などにより、外観が壊れていないか？
2. テスターリードコード、テスターコード：
 - ・ テスターリードコード、テスターコードから芯線が露出していないか？
 - ・ 入力端子にプラグを差し込んだ時に緩みはないか？

以上の項目に該当するものはそのまま使用しないでください。

● 保管について

1. アルコールやシンナーで拭かないこと。
2. 高熱の発するものの近くに置かないこと。
3. 振動の多い場所や落下のおそれのある場所に保管しないこと。
4. 直射日光や高熱、低温、多湿、結露のある場所での保管は避けること。
5. 長期間使用しない場合は、内蔵電池を必ず抜いておくこと。

用途

アーシングができていないかを確認するための測定キットです。

- ・ アースが地面に繋がっているか確認（簡易的な確認方法になります）
- ・ グッズやコードが通電しているか、断線、接触不良などがいないかの確認
- ・ 体の表面の電圧（その場所の電圧、電場環境の目安）の確認

公式ホームページでグッズの使い方や接続方法を動画や画像でわかりやすく説明していますのでご覧ください。

リラクリフェ



「アーシンググッズの使い方」
ページへ GO !!



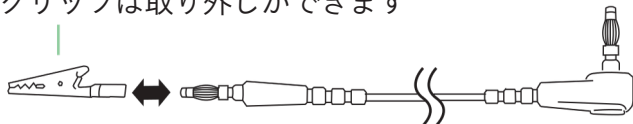


①テスター ②テスターリード ③テスターコード5m ④スプリッター ⑤プローブコード赤 ⑥プローブ
※⑤⑥はプローブセットのみ付属

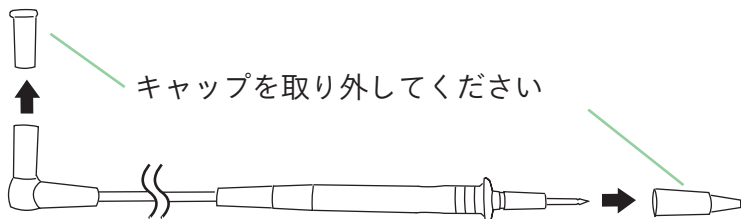
本体やコードの使いかた

●テスターコード黒5m

ワニ口クリップは取り外しができます



●テスターリードコード（黒・赤）



キャップを取り外してください

●電源を入れっぱなしにしていると「ピー」と音が鳴り自動で電源が切れます。

●バックライトの点け方

ダイヤルを回し、電源を入れた状態で○の青いボタンを長押しします。もう一度長押しすると消えます。



●電池の交換

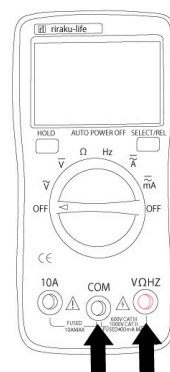
- ・単4電池2本
- ・本体裏側のついでを開き、○の部分のドライバーでネジを緩めます。
- ・フタを外して電池の交換をしてください。



警告

●電源がOFFになっていることを確認して作業を行うこと。

- ・黒いコードは真ん中
- ・赤いコードは右側
- ・一番左の穴は使用しません



- ③テスターコード黒5m または
- ②テスターリードコード黒

- ②テスターリードコード赤 または
- ⑤プローブコード赤

アースが地面に繋がっているか確認する方法

③

※この確認方法は、あくまで簡易的な確認方法になります。

電圧を測定する原理は、テスターの黒（真ん中の穴）と、赤（右側の穴）の電圧の差を測定します。

一般家庭では、コンセントのホット側は「100V」、コールド側は「0V」になっています。

コンセントのホット側とアースを確認して、アースが「0V」であれば、テスターには「100V 前後」の数値が表示されます。（「コンセントのホット100V（赤）」－「アース0V（黒）」＝「100V」）

※200Vのコンセントの場合は「200V 前後」になります。

テスターをセットします。

- 「V」にダイヤルを合わせます。

画面左側に「AC」と表示されているのを確認してください。

※電源を入れて表示される数値は0Vでなくても

この時点では何も測定していないので気にする必要はありません。

※テスターリードコードのキャップを外してください。

- テスターリードコード(黒)は真ん中に差し込む
- テスターリードコード(赤)は右側に差し込む

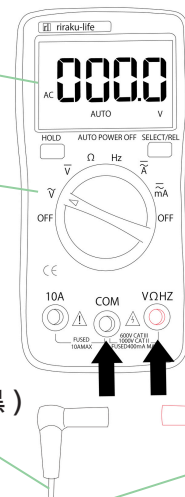
※一番左の穴は使用しません。

「AC」表示を確認

ダイヤルを「 \tilde{V} 」
に合わせる

② テスターリードコード(黒)

② テスターリードコード(赤)



● この測定をするときの注意事項



禁止

※この測定の時、テスターリードコードを持つときは必ずプラスチックの柄の部分を持ってください。針の部分は持たないようにしてください。



1. テスターリードコード(黒)の針の部分をアースの金属部分にあてます。

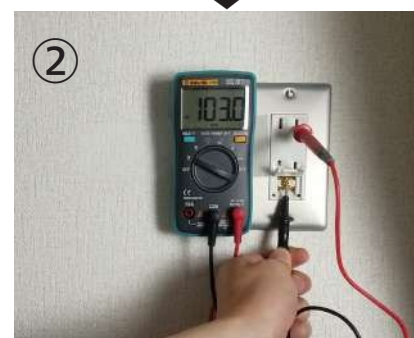
2. テスターリードコード(赤)の針の部分をコンセントのホット側に差し込みます。

※この時、しっかり奥まで差し込まないと接触がうまくいかず測定できない場合がありますのでご注意ください。



注意

- ・ 写真①→写真②の順番を必ず守ってください。
- ・ リードコード(黒)を先に接続し最後に離すこと。
- ・ 離す場合は、必ずリードコード(赤)を先に抜くこと。



③ テスターの数値が「100V 前後」になります。

何らかの理由で「100V 前後」にならない場合はアースが繋がっていない可能性があります。

※慣れていない方は、何度も試してできる場合がございます。

基本的にはコンセントの穴の縦が短い方がホット側です。長い方がコールド側です。

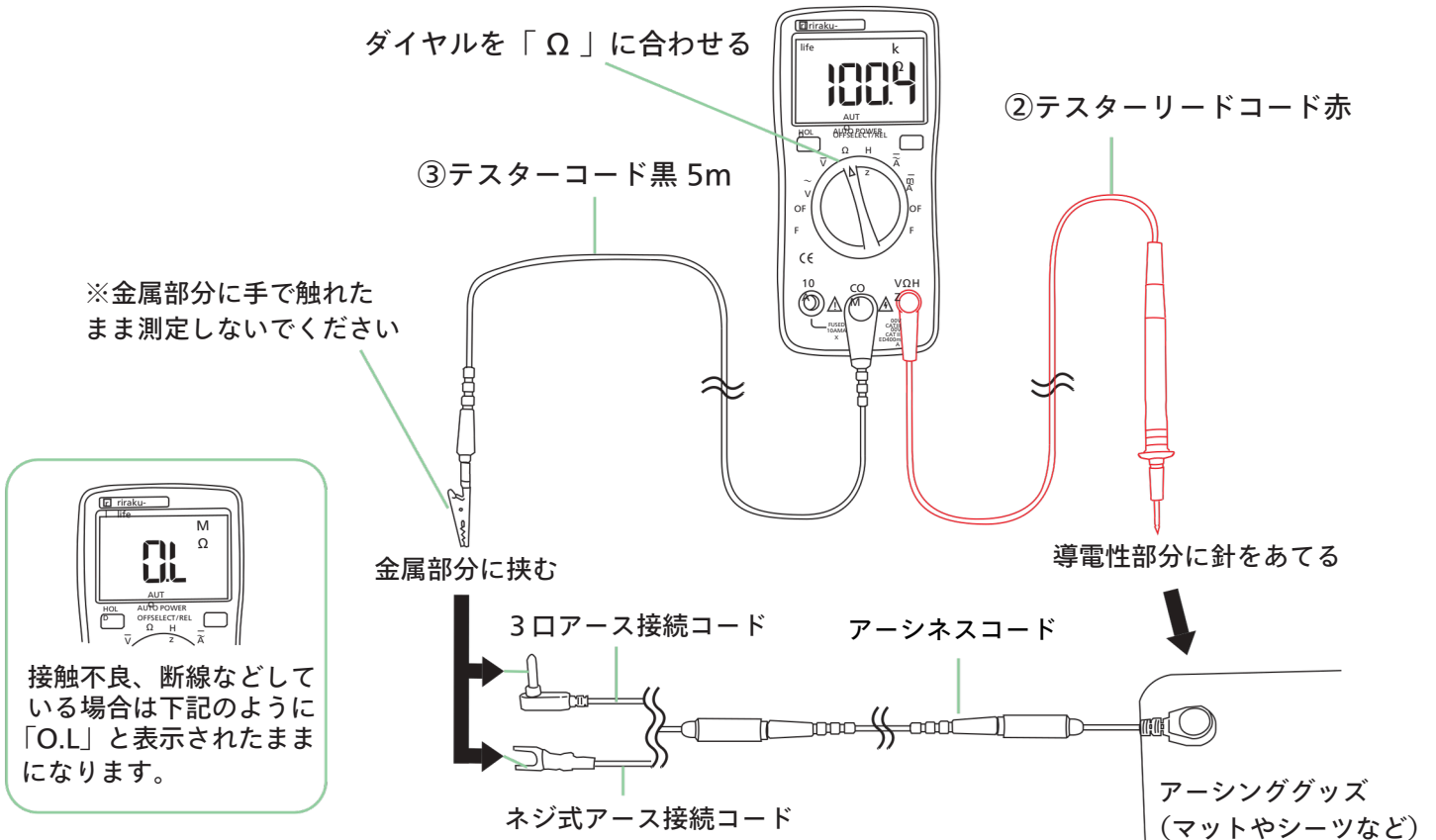
※工事の際に逆に取り付けられている場合がございますので、念のため、両方確認してみてください。

アーシンググッズの製品チェック・コードの断線確認のやりかた

④

※アーシンググッズやグッズに付属のコードは付属していません、別売になります。

●グッズが通电している事や、コードが接触不良や断線等していないかを確認します。



●アーシンググッズと必要なコードが全て接続されている状態にします。

(※アースにだけ繋がっていない状態)

1. ダイヤルを「Ω」に合わせます。
2. テスターリードコード赤の針の部分は、アーシンググッズの導電性のある場所にあてます。
3. テスターコード黒5mはワニ口クリップを使い、アースに繋げる端子の金属部分に挟みます。この時に数値が表示されれば通电している事が確認できます。

(アーシネスコードに 100kΩの抵抗が内蔵されている場合は 100kΩ以上の数値が表示されます。) 「O.L」と表示されたままの場合は、接触不良やコードの断線の原因が考えられます。

※この時に導通チェック (音で確認) では確認できませんので必ず抵抗値を測定してください。

※この時、テスターコード、リードの金属部分には手を触れないで測定してください。

正しく測定ができなくなってしまう。

各コードが断線しているか確認するやりかた

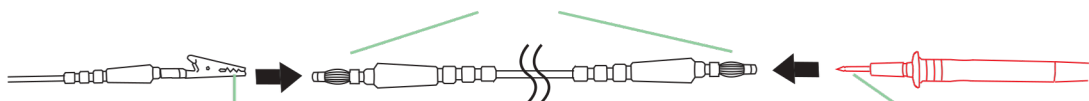
●上と同じように「Ω」で抵抗を測定します。

コードの端と端を測定します。

数字が表示されれば問題ありませんが、「O.L」と表示されたら接触不良、断線と考えられます。

※アーシネスコードに 100kΩの抵抗が内蔵されている場合は 100kΩ前後の数値が表示されます。

例：コードの端と端の金属部分を測定します。



※必ずワニ口クリップで挟んで金属部分を手で触れないように測定してください。触れてしまうと正しく測定できない場合があります。

※針の金属部分に触れないように測定してください。

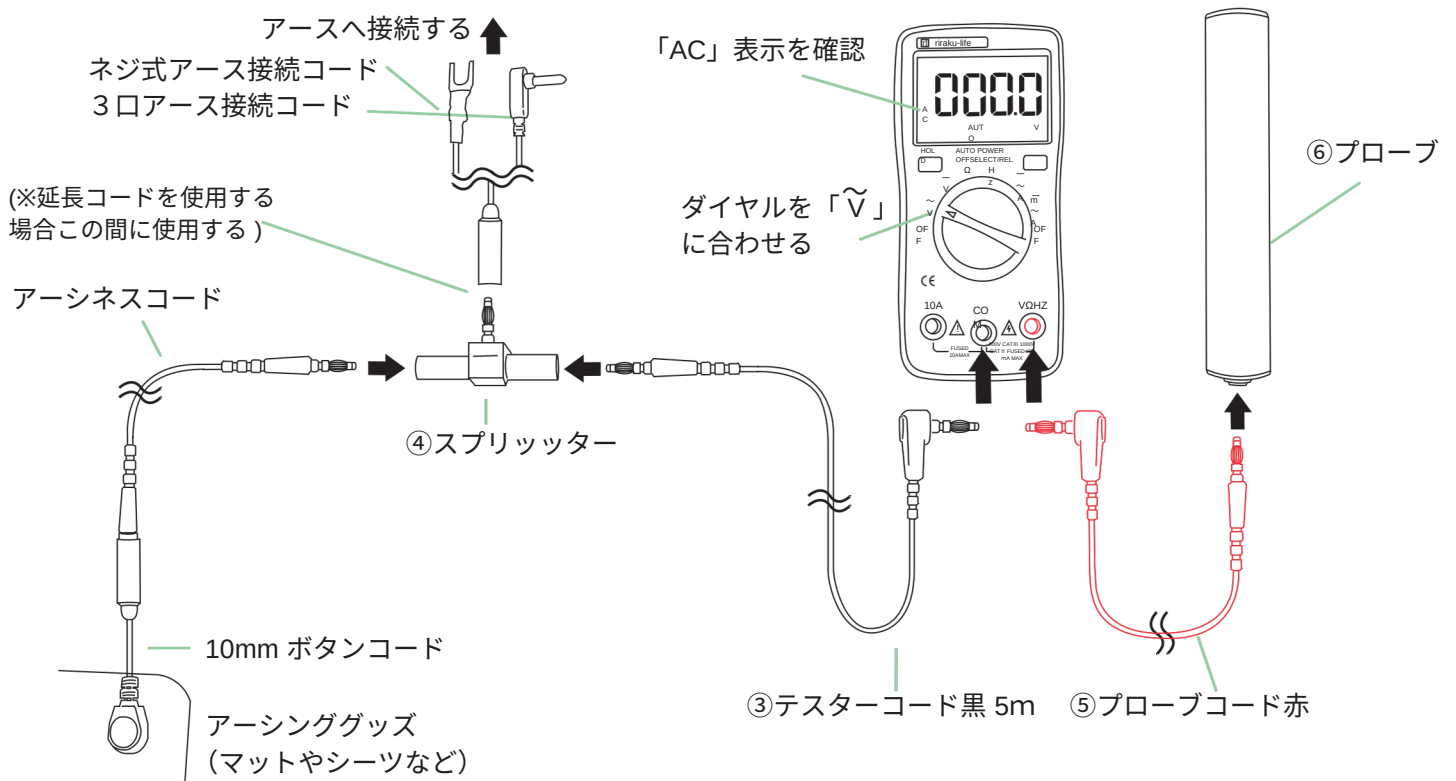
アーシンググッズと接続して体表電圧測定をするやりかた

⑤

※アーシンググッズ（グッズのコード）は付属しておりません、別売になります。

この測定は、体の表面（その場所）の電圧を測定します。

※アーシンググッズと接続しないで測定する場合は、テスターコード黒5mをアースに直接接続して測定してください。

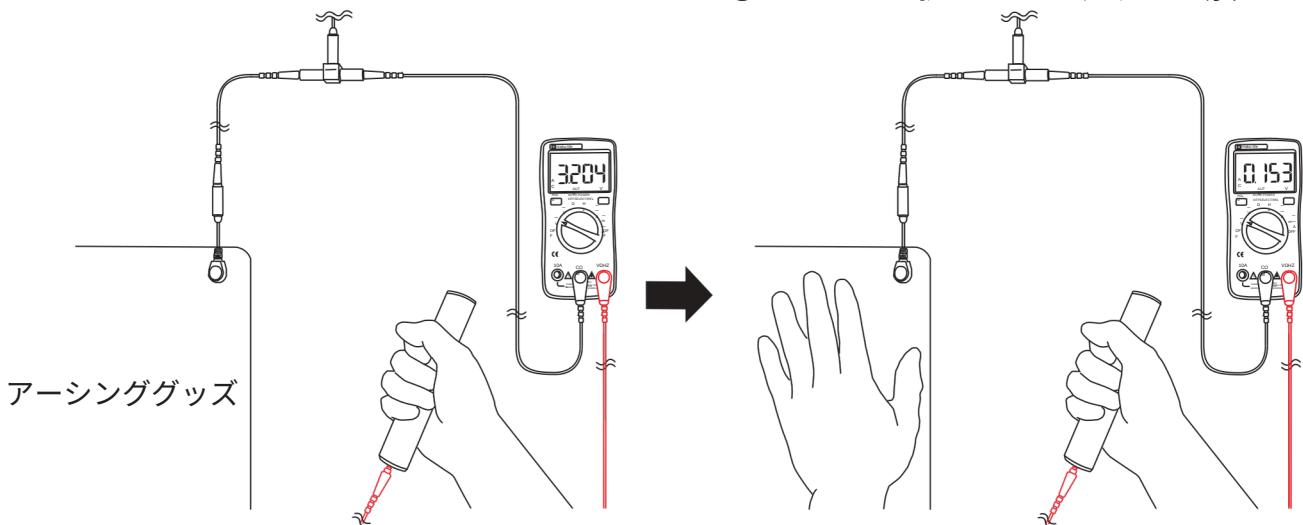


1. 上の図のように接続します。
2. アース接続コードはアースに接続してください。
3. ダイヤルを「 \tilde{V} 」に合わせます。画面左側に「AC」と表示されているのを確認してください。

4. 下の図①のようにテスターリードコード赤の針の部分をもちます。
5. 下の図②のようにテスターリードコード赤の針の部分をもったままアーシンググッズに触れてください。

① プローブを握っているだけの状態

② プローブを握りながらグッズに触れた状態



- グッズの上にどれくらいの厚さまでの生地を敷いてアーシングできるかの確認もできます。
 - 基本的にはグッズに触れると数値は下がります。環境によっては数値が上がる場合もあります。
- ※数値が上がる場合は環境、またはグッズの寿命やコードが断線している場合も考えられますので製品チェック、コードが断線していないかの確認をしてください。

アースが繋がってるかの確認でちゃんと数値がでない

- 使い方が慣れていない方は、コンセントのホット側でちゃんと接触していない可能性があります。何度か試してみてください。
- 数値がでない場合はアースが繋がっていない可能性が考えられますので、専門業者に正確な確認をしてもらってください。その後、管理会社などにお問合せしてみてください。

体表電圧測定で、グッズに触れた時に数値があがるのですが

- 基本的には、数値はさがるのですが、環境によっては数値が上がる場合もございます。
 - コードが断線、接触不良などの場合は数値があがる場合がございます。
- このような場合は、まず、「製品チェック、断線していないかの確認」ページでコードが断線していないかの確認をしてください。

体表電圧測定でアースに繋がってなくても数値がさがるのですが

- アースに接続しなくてもグッズが通電していれば、グッズに触れた時に数値は下がります。アースに繋げる事で正しい体表電圧の数値を測定する事ができます。

体表電圧測定でグッズに触れる前からほとんど0Vに近いのですが

- 体の表面の電圧を測定しているので、その場所の電圧が低い場合はそのようになる場合がございます。アースが繋がっているか確認、製品チェックができていればグッズを使用する事でアーシングはできます。

グッズを繋げない場合の体表電圧測定はどうやるの

- テスターコード黒5mをアースに直接接続して測定してください。

テスターの電源がはいらぬ

- 電池がなくなっていないかご確認ください。
 - 電池が本体の中でずれていないかご確認ください。
- 上記の場合で問題がなければ、故障の原因も考えられますのでカスタマーセンターまでご連絡ください。

アフターサービスについて

- 使い方など何かわからないことがございましたら、詳しくお電話でのご説明もこなっておりますので、カスタマーセンターまでお気軽にお問合せください。
- 本製品の保証期間はご購入の日より1年間です。ただし、日本国内で購入し日本国内でご使用いただく場合に限りです。また、製品付属の電池、テスターリードコード、テスターリードコード、スプリッター等は保証対象外とさせていただきます。

お問合せ先

ご質問、故障診断、修理などはこちら

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりサポート

リラクリフェ お問い合わせ



shop@riraku-life.com

お電話でのお問合せは 受付時間 10:00 ~ 17:00

042-404-2958

riraku-life(リラクリフェ) ホームページ <https://riraku-life.com>
株式会社 NESESTYLE 〒183-0015 東京都府中市清水が丘2-5-11